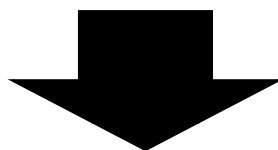


尼崎市自立支援協議会 あまのくらし部会

2014(平成26)年度のとりくみについて

あまのくらし部会の役割

障害のある人の地域生活を支援するための課題等について協議します。



- あまのくらし部会では、地域のネットワークづくり、親の高齢化に伴う障害のある人の自立生活や相談支援体制の整備などについて取り組んでいます。

今年度の取り組み

「あまのくらし部会フォーラム」の開催

第1部:「地域での自立生活を支える」～障害別自立生活の
現状と問題点～

第2部:6地区に分かれ交流・意見交換

「地域での自立生活を考える」

グループホーム勉強会

- ・社会福祉法人円勝会「ドリーム甲子園」より
- ・社会福祉法人「いたみ杉の子」より
- ・グループホーム建て貸し方式について(積水ハウス)

学習会

- ・地域福祉活動専門員の活動について

2014年度あまのくらし部会 活動内容(前半)

開催日	活動内容
5月22日	部会長の選任(互選)・副部会長の指名
	昨年度の部会の取り組みについての概要説明と振り返り(防災・地域で暮らす)
	26年度の取り組みについて(障害者地域支援会議、相談支援体制)
6月18日	26年度の取り組みについて(障害者地域支援会議:地域での自立生活・グループホーム、相談支援体制)
7月24日	「地域での自立生活を支える」社会福祉法人円勝会ドリーム甲子園 グループホームの現状
	全体会について(各障害について現状と課題)
	相談支援のあり方(フォーマルな相談とインフォーマルな相談)
8月7日	「地域での自立生活を考える」社会福祉法人いたみ杉の子 グループホームの現状
	全体会について(全体集会と6地区の集会の2部構成)
	建て貸し方式(積水ハウス)
9月4日	「地域での自立生活を支える」グループホーム学習会総括(あぜくら・ぷりぱ・福成会・ドリーム甲子園・いたみ杉の子)
	全体会について(当日の段取り・準備、各障害の発表準備)

2014年度あまのくらし部会 活動内容(後半)

10月2日	全体会について (当日の詳しい段取りと準備)
11月6日	障害者計画等策定に係る自立支援協議会意見の整理について 「あまのくらし部会フォーラム」について最終打ち合わせ (「障害者地域支援会議」という名称を「あまのくらし部会フォーラム」に変更)
11月27日	「あまのくらし部会フォーラム」 第1部:「地域での自立生活を支える」～ 障害別自立生活の現状と問題点～ 第2部: 6地区に分かれ交流・意見交換
12月4日	「あまのくらし部会フォーラム総括」 (アンケート集計・各地区まとめ・各委員の感想・今後の展開など) 地域生活が厳しくなっている筋ジスの方について
1月8日	あまのくらし部会フォーラム総括 (総括・アンケート集計・各地区交流・意見交換会まとめ・各委員からの意見) くらし部会今後の展開について (障害者の実態 相談のしくみ 地区ごとのネットワーク作り)
2月5日	地域生活が厳しくなっている筋ジスの方について 学習会「地域福祉活動専門員の活動について」 今後のくらし部会の展開について (地区ごとのネットワーク作りの話を中心に)
3月5日	地域生活が厳しくなっている筋ジスの方について 今年度の振り返り 来年に向けてくらし部会の展開について

あまのくらし部会フォーラム

日時:2014年11月27日13:00～15:30

会場:尼崎市中央公民館 3階大ホール

第1部:地域での自立生活を支える

～ 障害別自立生活と問題点～

1. 知的障害児・者の自立生活と問題点

(尼崎市手をつなぐ育成会より)

知的障害がある人たちのくらし

1. 知的障害とはどんな障害?
2. 毎日の生活 ～トーク形式で発表～
3. これからのこと、将来どんなくらしがしたい?



2. 身体障害児・者の自立生活と問題点

(尼崎市肢体不自由児者父母の会より)

自立生活への不安と問題点



地域生活が厳しくなっている医療ケアが必要な方についての報告

3. 精神障害児・者の自立生活と問題点

(心の病を抱える方の会「ゆっくり」より)

心の病を抱えて暮らすこと ～体験談～

こころの病気を発祥した子どもの親となって



第2部：6地区に分かれ、交流・意見交換

- 6地区(大庄・武庫・立花・中央・小田・園田)に分かれ、障害者の自立生活について現状を報告しあい、問題点を話し合う。
- 民生委員・社会福祉協議会の方・高齢者事業所など様々な立場の方の参加。
- 地域の方とつながる機会。名刺交換・事業所案内等の交換。

あまのくらし部会フォーラムアンケート結果(第1部)

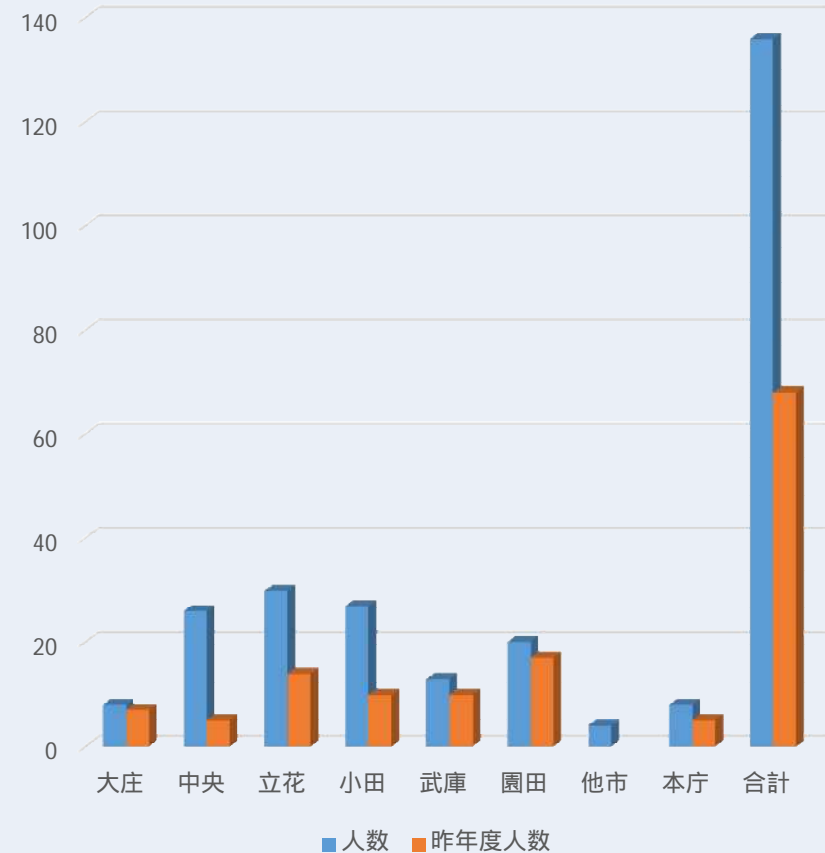
- 当事者・家族のありのままの現状・問題点を聞いて良かった。
- 当事者・家族・支援者それぞれの立場から話したことが良かった。
- 障害種別ごと(知的・身体・精神)の思いや抱える問題を聞いたことが良かった。
- もっと当事者の話が聞きたい。
- 障害福祉関係者だけでなく、地域住民が障害者を理解する取り組みが今後もっと必要になる。
- 医療ケアの必要な方の切迫した状況・重心の方のグループホームの難しさなどに関心。

あまのくらし部会フォーラムアンケート結果(第2部)

- 地区ごとの交流はたいへん有意義であった。
- 「横のつながり」「顔の見える関係」「ネットワーク」の大切さを実感した。
- さまざまな立場の方の参加し、思いの共有が出来てよかった。
- 民生委員や社会福祉協議会の地域福祉専門員がいて、つながり作りのきっかけになった。
- その地区ならではの問題点が出た。
- 参加者の「つながりたい」という強い思い、熱が伝わってきた。
- 今後継続を望む声大きい。

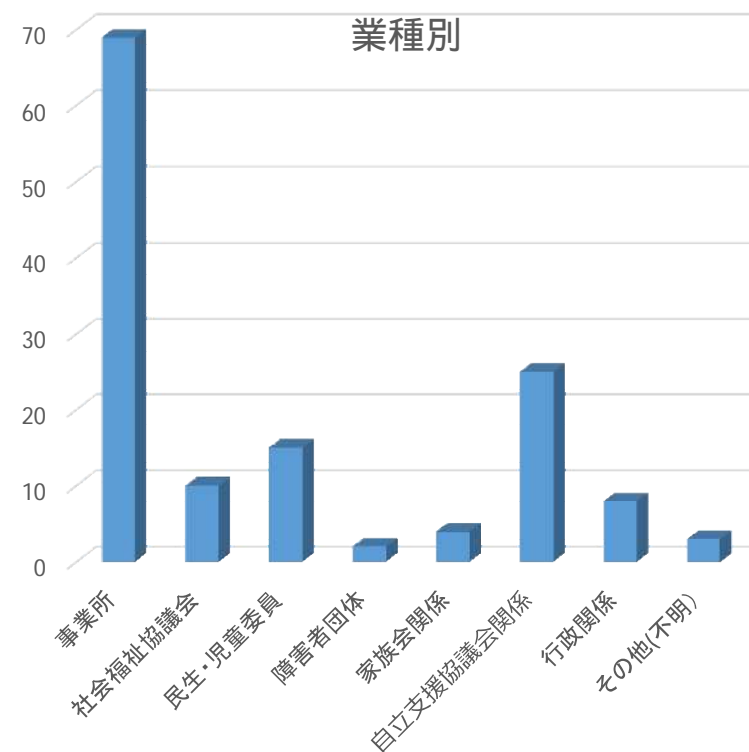
2014年 あまのくらし部会フォーラム 参加者内訳(地区別)

地区別		
地区	人数	昨年度人数
大庄	8	7
中央	26	5
立花	30	14
小田	27	10
武庫	13	10
園田	20	17
他市	4	
本庁	8	5
合計	136	68



2014年 あまのくらし部会フォーラム 参加者内訳(業種別)

業種別	人数
業種	
事業所	69
社会福祉協議会	10
民生・児童委員	15
障害者団体	2
家族会関係	4
自立支援協議会関係	25
行政関係	8
その他(不明)	3
合計	136
1部のみ参加	14
資料希望のみ	5



グループホーム学習会

社会福祉法人円勝会ドリーム甲子園 グループホームの現状

- ・グループホーム24ヶ所(知的の方7割・精神の方増える・身体の方無し)
- ・すべて賃貸物件
- ・人材確保・消防法・地域住民との問題・バリアフリー・高齢化(65歳)問題

社会福祉法人杉の子 グループホームの現状

- ・伊丹市内7ヶ所のグループホーム・入所施設(ライフゆう)ユニットケア・メゾネット型
- ・物件探し難・消防法・人材確保と質の問題・親亡き後・成年後見人制度
- ・今後:サテライト型グループホーム・小規模入所施設の検討

グループホーム一括建て貸し方式

- ・積水ハウスより。中間にNPOが入る
- ・土地のオーナーがグループホームを建て賃貸し。長期一括借り上げ方式

学習会「地域福祉活動専門員の活動について」

- あまのくらし部会フォーラムで、各地区の地域福祉活動専門員の方々が参加したことがきっかけ
- 「地域福祉会議」：開催はまだ少ない。(挨拶運動・防災マップ等)
- 顔の見える関係を築く 既存している集まり・会の活用

今後に向けて

- 暮らし部会として、今後地域への発信・つながり作りに向けて、市内の事業所・当事者団体のほか、各6地区地域福祉活動専門員・地域保健担当・地域包括・民生委員存在を認識できた
それぞれの地区で協力して活動していく
- 6地区ごとの活動・顔の見える関係作り・ネットワーク作り
- フォーラムの定例化：「当事者の体験・実状・思いを聞く場」
「各地区の交流の継続」
「相談支援の仕組み」